

原則として
振込口座は
申請者名義
のもの

申請者 = 保護者 = 振込口座名義
父 = 父母 = 父の口座
母 = 父母 = 母の口座
父 = 父母 = 母の口座

様式第1号(第5関係) ※黒又は青のインク・ボールペンで記入すること(鉛筆・フリクションは不可)

宮城県知事 殿

令和 7年 7月 1日

※ はじめに、次の欄の上、口にレ点を付記してください。【必須項目】

☒この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。

☒この申請書に虚偽の記載があった場合は、宮城県の求めに従いその全額を即時返還します。

☒私は宮城県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。

☒この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童養護施設に在籍する児童等（生活支援施設の高校生等を除く）の支弁対象ではありません。

非課税ではなく**生業扶助受給**にチェック

【宮城県私立高校生等奨学給付金の受給を申請します。】

フリガナ
申請者氏名
(保護者等)

ミヤギ タロウ
宮城 太郎

住所
〒980-0001 青葉区本庁3丁目8-1
電話番号(022)211-2264

高校生等との関係

☒親権者 ☐未成年後見人 ☐未成年後見人である里親 ☐主たる生計維持者 ☐生徒本人 ☐その他
※専攻科の場合、「親権者」とあるのは「主たる生計維持者」と読み替えるものとする。

申請区分

☐非課税 ☒生業扶助受給 ☐家計急変

生業扶助の受給に関する誓約

生業扶助を受給していない場合は、内容を確認の上、口にレ点を付けてしてください。
☐私の世帯は、認定基準日において、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。

必須項目

家計急変の状況

年収見込

続柄

父

円

円

人

母

円

円

人

※家計急変で申請する場合のみ

家計急変発生の日
令和 年 月 日

家計急変理由

【対象となる高校生等】

フリガナ
氏 名

ミヤギ ジロウ
宮城 二郎

生年月日
2009年4月2日

学校
記入欄

当該生徒は高等学校等就学支援金等の受給資格者であることを確認しました。
(学校担当者が確認印を押印する。)

印

在学学校名

宮城県庁高等学校

在学期間

令和 7年 4月 1日 ~ 基準日

学校の種類等

通信制以外・通信制

学年・コース等

1学年 普通科

過去の高等学校等における在学期間

学校名

立

在学期間

年 月 日 ~ 年 月 日

学校の種類等

通信制以外・通信制

在学中に給付金を受給した回数

なし・回・不明

学校名

立

在学期間

年 月 日 ~ 年 月 日

学校の種類等

通信制以外・通信制

在学中に給付金を受給した回数

なし・回・不明

【保護者等の収入状況(いずれか1か所の口にレ点を付記してください。)】

① ☒ 生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出します。

② ☐ 親権者(両親)2名分

③ ☐ 親権者1名分(親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。)
・離婚、死別等により親権者が1名の場合
・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 等
・(専攻科のみ)満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は⑤又は⑥のいずれかの口にレ印を付けてください。

④ ☐ 未成年後見人()名分
親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)
※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。

⑤ ☐ 生徒の生計をその収入により維持しているもの(主たる生計維持者)(両親等)2名分
※生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合

⑥ ☐ 主たる生計維持者1名分
・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、
・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等

⑦ ☐ 生徒本人
親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

審査欄	通信制以外・通信制	生業扶助 非課税 家計急変	加算額 ☐ 該当 ☐ 非該当	給付額 円	学校確認①	学校確認②	私学・公益法人課
-----	-----------	---------------------	--	----------	-------	-------	----------

原則として
振込口座は
申請者名義
のもの○
○
×申請者 = 保護者 = 振込口座名義
父 = 父母 = 父の口座
母 = 父母 = 母の口座
父 = 父母 = 母の口座

様式第1号(第5関係)

※黒又は青のインク・ボールペンで記入すること(鉛筆・フリクションは不可)

宮城県私立高校生等奨学給付金受給申請書

4か所とも必ずチェック。

令和 7年 7月 1日

宮城県知事 殿

※ はじめに、次の事項の上、口にレ点を付記してください。【必須項目】

- ☒ この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- ☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、宮城県の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☒ 私は宮城県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
- ☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。

【宮城県私立高校生等奨学給付金の受給を申請します。】

フリガナ ミヤギ タロウ
申請者氏名 (保護者等) 宮城 太郎
住所 〒980-8570
仙台市青葉区本庁3丁目8-1
電話番号(022)211-2264高校生等との関係 ☒親権者 ☐未成年後見人 ☐未成年後見人である里親 ☐主たる生計維持者 ☐生徒本人
※専攻科の場合、「親権者」とあるのは「父母」と読み替えるものとする。申請区分 ☒非課税 ☐生業扶助受給 ☐家計急変生業扶助の受給に関する誓約 生業扶助を受給していない場合は、内容を確認の上、口にレ点を付けてしてください。
☒ 私の世帯は、認定基準日において、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。 必須項目

家計急変の状況	続柄	家計急変前	家計急変後	扶養人数
年収見込	父	円	円	人
	母	円	円	人
※家計急変で申請する場合のみ	家計急変発生の日	令和 年 月 日		
	家計急変理由			

【対象となる高校生等】

フリガナ	ミヤギ ジロウ	生年月日	学校 記入欄	当該生徒は高等学校等就学支援金等の受給資格者であることを確認しました。 (学校担当者が確認印を押印する。)	印
氏 名	宮城 二郎	2009年4月2日			
在学学校名	宮城県庁高等学校	在学期間	令和 7年 4月 1日 ~ 基準日		
学校の種類等	通信制以外・通信制	学年・コース等	1学年 普通科		
過去の高等学校等における在学期間	学校名	立	在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
	学校の種類等	通信制以外・通信制	在学中に給付金を受給した回数	なし・回・不明	
	学校名	立	在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
	学校の種類等	通信制以外・通信制	在学中に給付金を受給した回数	なし・回・不明	

【保護者等の収入状況(いずれか1か所の口にレ点を付記してください。)】

次の者の課税証明書を提出します	①	☐ 生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出します。
	②	☒ 親権者(両親)2名分
	③	親権者1名分(親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書を提出できない場合 等 ・(専攻科のみ)満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は⑤又は⑥のいずれかの口にレ印を付けてください。
	④	未成年後見人()名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
	⑤	生徒の生計をその収入により維持しているもの(主たる生計維持者)(両親等)2名分 ※生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
	⑥	主たる生計維持者1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
	⑦	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

審査欄	通信制以外・通信制	生業扶助 非課税 家計急変	加算額 ☐ 該当 ☐ 非該当	給付額 円	学校確認①	学校確認②	私学・公益法人課

原則として
振込口座は
申請者名義
のもの

○
○
×

申請者 = 保護者 = 振込口座名義
父 = 父母 = 父の口座
母 = 父母 = 母の口座
父 = 父母 = 母の口座

様式第1号(第5関係)

※黒又は青のインク・ボールペンで記入すること(鉛筆・フリクションは不可)

宮城県私立高校生等奨学給付金受給申請書

4か所とも必ずチェック。

令和 7年 7月 1日

宮城県知事 殿

※ はじめに、次の事項の上、口にレ点を付記してください。【必須項目】

- ☒ この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、宮城県の求めに従いその全額を即時返還します。
☒ 私は宮城県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設等に入所している児童等（児童福祉施設等の高校生等を除く）の支弁対象ではありません。

非課税ではなく家計急変にチェック

【宮城県私立高校生等奨学給付金の受給を申請します。】

フリガナ	ミヤギ タロウ	住所	〒980-8555 仙台市青葉区3丁目8-1
申請者氏名 (保護者等)	宮城 太郎	電話番号	(022)211-2264
高校生等との 関係	☒ 親権者 ☐ 未成年後見人 ☐ 未成年後見人である者 ☐ 主たる生計維持者 ☐ 生徒本人		
申請区分	☐ 非課税 ☐ 生業扶助受給 ☒ 家計急変		
生業扶助の 受給に関する 誓約	私の世帯は、認定基準日において、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。		

生業扶助を受給していない
場合は、必ずチェック。

家計急変の 状況	続柄	家計急変前	家計急変後	扶養人数
年収見込	父	6,000,000円	1,200,000円	2人
	母	0円	0円	0人
※家計急変 で申請する 場合のみ	家計急変発生の日	令和7年5月31日		
	家計急変理由	勤務先都合による整理解雇		

【対象となる高校生等】

フリガナ	ミヤギ ジロウ	生年月日	2008年4月2日	学校 記入欄	当該生徒は高等学校等就学支援金等の受給資格者であることを確認しました。 (学校担当者が確認印を押印する。)	印
氏 名	宮城 二郎					
在学学校名	宮城県庁高等学校	在学期間	令和 7年 4月 1日 ~ 基準日			
学校の種類等	通信制以外・通信制	学年・コース等	1学年 普通科			
過去の高等学校等 における在学期間	学校名	立	在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
	学校の種類等	通信制以外・通信制	在学中に給付金を受給した回数	なし・回・不明		
	学校名	立	在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
	学校の種類等	通信制以外・通信制	在学中に給付金を受給した回数	なし・回・不明		

【保護者等の収入状況(いずれか1か所の口にレ点を付記してください。)】

次 の 者 の 課 税 証 明 書 等 を 提 出 し ま す	①	☐ 生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出します。
	②	☒ 親権者(両親)2名分
	③	親権者1名分(親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 等 ・(専攻科のみ)満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は⑤又は⑥のいずれかの口にレ印を付けてください。
	④	未成年後見人()名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
	⑤	生徒の生計をその収入により維持しているもの(主たる生計維持者)(両親等)2名分 ※生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
	⑥	主たる生計維持者1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
	⑦	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

審査欄	通信制以外・通信制	生業扶助 非課税 家計急変	加算額 ☐ 該当 ☐ 非該当	給付額 円	学校確認①	学校確認②	私学・公益法人課
-----	-----------	---------------------	--	----------	-------	-------	----------